

# 中堅企業委員会アピール 経営TOPの考え方の浸透がカギー－強い中堅企業をつくる4つの条件－（要約）

一般社団法人 関西経済同友会  
中堅企業委員会

経営TOPとして求められるものは何か？委員会メンバーの実体験や、工場見学、講演会などを通じて、人材育成と経営TOPに求められるリーダーシップという視点から、4つのポイントにとりまとめた。経営TOPが、いかに「社員の能力を引き出す仕掛け」を作っていくか、その経験・精神を次世代に伝えていくか。経営TOPの考え方をいかに全社員に浸透させていくのか。結果として社員が「この会社で働いて良かったと思える会社」にしたいという、経営TOPの強い想いを表したものである。

## アピール1

【課題】企業の競争条件が大きく変化する中で、いかに成長して生き残るか

### 変化の時代に、熾烈なグローバル競争を勝ち抜くためには、 スピード第一 中堅企業の強みを生かし、経営TOPが即断、即決すること

- 1) 中堅企業は、経営TOPと社員の距離が近いため情報伝達のスピードが速く、大企業に比べると、先手必勝の勝ちパターンが描きやすい。
- 2) 判断を迅速に行うために、経営TOPに情報が早く上がる風土改革の仕掛け

#### 【断切りたい風土】

- ・悪い情報を上げない
- ・個人の勝手な判断
- ・らしい/だろう/そのはず

#### 【風通しの良い風土】

- ・報告、連絡、相談の徹底へ
- ・全体最適へ
- ・現場、現物、現実へ



スピード経営のための、社内の基本ルールを国内外で徹底させる。

## アピール2

【課題】中堅企業の規模的な強みを活かし、いかに少人数で戦うか

### 生き残る企業になる上で成すべきことは、 経営TOPの考え方を全社員に浸透させること

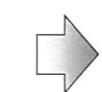
- 1) 経営理念・方針や企業活動を見る化（分かり易く展開）して、経営TOPの考え方を迅速に全ての社員に伝えること。
- 2) 経営TOPの方針を社内に浸透させ、全員の共感を得ることが必要である。  
①社内ルールの明示を、誰もが理解できる形で展開
  - ・企業スローガン、経営方針など、統一看板で掲示等。
  - ・物事の判断の優先順位を決めて、社内、グループ内に徹底。
- ②風通しの良い企業風土の構築
  - ・社員一人ひとりに愛社精神を持ってもらうためには、社員満足度をUPし、経営TOPの分身づくりを片時も忘れない。
  - ・国内外すべての事業所で職場を綺麗に保つ3S（整理、整頓、清掃）活動などの実施。

## アピール3

【課題】いかに社員の心をつかむか、社員を経営TOPの考え方通りに活躍させるか

### 経営TOPにとって一番ありがたいのは、社員の 帰属意識と愛社精神

- ・強い帰属意識
- ・愛社精神に溢れる社員



競争力の高い会社となる

「この会社で働いて良かった」と思われるよう、経営TOPは、企業の知名度向上、一体感、やる気を実現し、会社への誇りを持たせることで、社員のモチベーションUPを図る。

会社は誰のためのものか



株主や経営者だけのものではなく  
社員のためのものもあるという意識が大切

## アピール4

【課題】いかに社員満足度を上げるか

### 社員とのコミュニケーションを図り、 社員にやる気を出させる仕掛けづくりが重要

限りある社員／人材に、最高効率で業務遂行をしてもらうことがポイント



社員の能力向上 社員の定着化 人材育成

- 1) 中堅企業のコミュニケーションの真髄とは・・・頻度である。
- 2) 経営TOPとの、Face to Faceのコミュニケーション(0JT)でプロ人財をつくる。  
厳しさ、見えないリスク、カン、コツを伝授する。
- 3) 喜びも苦しさも本音で共有することである。
- 4) PDCA（計画 → 実行 → 評価 → 改善）のサイクルを廻すこと。

